

2013 年度年次大会理事会企画のご案内

2013 年度理事会では、企画理事会を中心に、「日本機械学会の果たすべき役割」という統一テーマのもと、9 月 9 日（月）～11 日（水）の 3 日間、2013 年度年次大会（岡山大学：創立五十周年記念館）において、下記企画を実施いたします。2013 年度年次大会参加予定者におかれましては、お繰り合わせご出席願いたく、この段ご通知申し上げます。

記

◇ 日本機械学会の果たすべき役割：「産業界の挑戦、日本機械学会の新たな役割」

日時 2013 年 9 月 9 日（月）13.30～17.00

会場 岡山大学創立五十周年記念館多目的ホール

要旨 企業幹部、業界代表者をパネリストとして招聘し、今後の新規産業育成や産業競争力強化へ解決が必要な研究開発課題、機械関連技術や機械技術者への期待、社会とともに活動する日本機械学会の果たすべき役割に関して、講演、討論を行う。

司会 笠木伸英（科学技術振興機構：2006 年度日本機械学会会長）

講演 東海道新幹線から超電導リニアへ／森村 勉（東海旅客鉄道株式会社、代表取締役副社長）

東芝の挑戦と日本機械学会への期待／須藤 亮（株式会社東芝、取締役・代表執行役副社長）

デンソーの持続的成長への挑戦／宮木正彦（株式会社デンソー、代表取締役・取締役副社長）

新しい農業の展開－分野融合によるイノベーションの創出－／野口 伸（北海道大学大学院農学研究院教授、

日本生物環境工学会会長）

パネルディスカッション

上記講演者（会場との討論も予定しております）

◇ 日本機械学会の果たすべき役割：部門大集合ハイライト

日時 2013 年 9 月 11 日（水）9.00～12.00

会場 岡山大学創立五十周年記念館多目的ホール

要旨 本年 4 月 19 日の 2012 年度（第 90 期）定時社員総会にて部門大集合「部門から社会への発信」を実施したが、今回は、専門会議・推進会議にも参加いただき、部門・専門会議・推進会議の活動状況や組織としての社会への発信及び学会として社会に対する果たすべき役割などをテーマにした内容を中心として講演をいただく。

司会 酒井信介（東京大学、2011 年度、2012 年度企画理事）

◇講演内容 13分/件

順序	開始時間	終了時間	部門・専門会議・推進会議名	発表者名	所属	発表テーマ
	9.00	9.10	司会挨拶(酒井信介(東大))			
1	9.10	9.23	計算力学部門	吉村 忍	東京大学	社会のための計算力学
2	9.23	9.36	材料力学部門	吉川暢宏	東京大学	高圧水素機器の合理的設計基準をいかに策定するか
3	9.36	9.49	流体工学部門	河合理文	(株)IHI	産業の現場における流れの諸問題
4	9.49	10.02	スポーツ・アクト・ヒューマンゲイティクス専門会議	伊藤慎一郎	工学院大学	SHD 専門会議になつての過去 3 年半の活動と将来
5	10.02	10.15	マイクロ・ナノ工学部門	小寺秀俊	京都大学	マイクロ・ナノ工学部門の紹介及び最近のマイクロ・ナノ領域の動向とグローバル化
休憩 10 分						
6	10.25	10.38	設計工学・システム部門	加藤 廣	デジタルプロセス(株)	製造業のグローバル競争力を支える設計力、産学連携がカギを握る
7	10.38	10.51	医工学テクノロジー推進会議	田中真美	東北大学	医工学テクノロジー推進会議発足と活動について
8	10.51	11.04	バイオエンジニアリング部門	山根隆志	神戸大学	医療介護福祉に生きる機械技術
9	11.04	11.17	動力エネルギーシステム部門	坂井 彰	(株)IHI	東日本大震災におけるエネルギーインフラの被害調査、分析と将来に向けての提言
10	11.17	11.30	環境工学部門	川島 豪	神奈川工科大学	環境工学部門から社会への発信「人間中心の先進サステナブル都市に向けて」
11	11.30	11.43	技術と社会部門	星 朗	東北学院大学	願わくはわれら、技術と社会の懸け橋とならん
	11.45	12.00	司会者まとめ			

★また、今回、創立五十周年記念館では以下の企画も開催いたします。奮ってご参加くださいますようお願いいたします★

◇ 福島原発事故の教訓から学ぶ工学の原点と社会的使命 ～安全・安心社会構築に向けて～

日時 2013 年 9 月 9 日（月）10.00～12.00

会場 岡山大学創立五十周年記念館多目的ホール

企画 長期的視点からの提言検討委員会 WG4

司会 矢部 彰（日本機械学会会長）

(1) 総括 背景説明と活動経緯／佐藤順一（IHI：2011 年度 日本機械学会会長）

(2) 第 1 章「技術が社会に受容されるための条件」／近藤恵嗣（福田・近藤法律事務所）

(3) 第 3 章「科学技術革新に対する社会からの受容に必要な工学の役割」／白鳥正樹（横国大：2008 年度 日本機械学会会長）

(4) 第 2 章「技術と工学の進展と安全性確保のための社会システムの形成」、第 4 章「社会が“社会技術”を受容する際に市民が持つべき教養～工学リベラルアーツ教育のすすめ」、第 5 章「学会および大学・研究独法等の教育・研究組織の社会的役割」の概要と日本機械学会としての提言案／矢部彰（産総研：日本機械学会会長）

(5) パネルディスカッション／（モデレーター：近藤恵嗣、パネリスト：講演者全員）

◇ 東日本大震災・調査提言分科会報告

日時 2013年9月10日(火) 9.00~12.00
 会場 岡山大学創立五十周年記念館多目的ホール
 企画 理事会, 東日本大震災調査・提言分科会
 司会 吉村 忍 (東日本大震災調査・提言分科会幹事)

- (1) 総括/白鳥正樹 (横国大)
- (2) WG1 機械設備等の被害状況と耐震対策技術の有効性/藤田聡 (東京電機大)
- (3) WG2 力学体系に基づく津波被害のメカニズムの理解/吉村忍 (東大)
- (4) WG3 被災地で活動できるロボット課題の整理/大隅久 (中央大)
- (5) WG4 被災地周辺の交通、物流分析/鎌田崇義 (東京農工大)
- (6) WG5 エネルギーインフラの諸問題/小泉安郎 (信州大)
- (7) WG6 原子力規格・基準の課題と今後の方向性/森下正樹 (日本原子力研究開発機構)
- (8) WG7 地震, 原発事故等に対する危機管理/近藤惠嗣 (福田・近藤法律事務所)

◇ 技術ロードマップから提案する新たな国家プロジェクト

日時 2013年9月10日(火) 13.30~15.00
 会場 岡山大学創立五十周年記念館多目的ホール
 企画 イノベーションセンター企画
 司会 平澤茂樹 (神戸大), 渡邊政嘉 (経済産業省)

- (1) 日本機械学会から未来へのメッセージ (仮題) / 矢部彰 (産総研: 日本機械学会会長)
- (2) 新たな成長戦略と革新技術/渡邊昇治 (経済産業省)
- (3) パネルディスカッション
 渡邊政嘉 (経済産業省), 平澤茂樹 (神戸大), 渡邊昇治 (経済産業省), 佐藤順一 (IHI), 吉村卓也 (首都大), 大富浩一 (東芝)

★ 岡山大学創立五十周年記念館多目的ホールでの企画

	午前	午後	
9月9日(月)	福島原発事故の教訓から学ぶ工学の原点と社会的使命 ~安全・安心社会構築に向けて~	日本機械学会の果たすべき役割: 「産業界の挑戦, 日本機械学会の新たな役割」	
9月10日(火)	東日本大震災・調査提言分科会報告	技術ロードマップから提案する新たな国家プロジェクト	特別講演: 「技術者の人材育成する側, される側, このままで良いのか?」(田口裕也, 日本機械学会フェロー, 2005年度日本機械学会会長) 特別講演: 古くて新しい 酸化鉄材料の新展開ー備前焼締棒模様, そして微生物が作る酸化鉄ー(高田潤, 岡山大学特教授)
9月11日(水)	日本機械学会の果たすべき役割: 部門大集合ハイライト		